

第6学年 国語科学習指導案

児童 13名 (男子6名 女子7名)
指導者 佐藤直子

- 1 単元名 三 伝えたい「何か」を見つけよう (総合)
教材名 平和のとりでを築く (説明文)
教材名 自分の考えを発信しよう

2 単元設定の理由

(1) 児童について

児童はこれまで「話すこと・聞くこと」では、「学級討論会をしよう」「二つの意見から」の学習で討論の流れに沿って相手の意図を聞き取ったり自分の主張を明確に話したり、調べたことをもとに自分の意見を主張しあったりする学習をしてきた。身近な話題を題材にして討論会シートを使い話し合う学習を通して、立場をはっきりさせて話し合おうとする態度は育ってきている。話し合う中で自分の意図を相手に伝えようとする意欲は高まっているが、そのための組立ての工夫を考える力はまだ十分ではないので「なにをどう話せばよいか」に自信が持てず発言に消極的になっている児童も見られる。

「書くこと」では、「二つの意見から」で、自分の考えを明確に表現するために根拠となる事柄などを工夫して組立てて意見文を書く学習を行った。「意見—根拠—結び」という柱に沿って筋道を立てて文章を書く活動を通して、わかりやすい文章を書く力がついてきている。しかし、全体を見通して書く事柄を整理したり、読み手を引きつける書き出しを工夫したりするなどの組立ての効果を考えて書く力はまだ十分ではない。

「読むこと」では「森へ」「火星に生命をさぐる」「外来語と日本文化」で、筆者の心の動きと場面の情景を叙述に即して読むことや、筆者の考えと事例とを押さえながら要旨をとらえる学習をしてきた。事例と筆者の考えとを見分けながら意味段落の内容を読み取り、全体の要旨をとらえていく学習を通して、内容を的確にとらえようとする態度は育ってきている。しかし、要旨に関わる大事な言葉を自分で見つけたり、筆者が読み手にわかりやすく訴えるためにどんな構成の工夫をしているかを自分で気付いたりする力は十分とはいえない。また、読み取った内容に対して感想を述べることはできるが、筆者の考えに対して自分の立場をはっきりさせ、読み深める話し合いに消極的な児童も見られる。

(2) 単元について

本単元は、本校の目指す子供の姿「お互いの思いや考えをやりとりし、お互いに分かり合おうとする子供」の具現化を図るために設定した単元である。本単元での主たる指導事項は、「読むこと」では「書かれている内容について、事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと」、「書くこと」では「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること」、「話すこと・聞くこと」では「考えたことや自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」である。

本単元は「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」という二教材から構成されている。「平和」ということを窓口として「環境」「福祉」「国際理解」といった「自分たちの未来」に対する自分の考えを発信することが大きなねらいである。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の総合単元であるので、児童がこれまでに身に付けてきた力を発揮し、意欲的に学習を進められるようにしながら国語の力を高めていきたい。また、「平和のとりでを築く」は、説明文的文章の最後として、課題提示・説明・主張という文章構成がはっきりとわかる題材である。内容について学ぶとともに、文章で何かを伝えたいときの文章構成をもう一度確認することができるものである。

(3) 指導にあたって

本単元でねらう主たる指導事項の定着を図るため、指導にあたっては次のように進めたい。

- ① リード文を確認し、「今の社会を見すえて、自分の考えを持ち、未来に向かって発信しよう」という目的を意識させ自分の考えを持たせながら学習を進めていく。

- ②「平和のとりでを築く」では、「原爆ドームの紹介―戦時中の歴史的事実―保存運動にこめられた人々の思い―世界遺産に指定―筆者の考えと意見」という構成を図や表にまとめ、事例と意見を的確にとらえながら、原爆ドームが人の心に平和のとりでを築くための世界遺産であるという筆者の未来を見すえた訴えを読み取ることができるようにする。
- ③「平和のとりでを築く」というのはどういう未来をつくることなのか」ということについて話し合うことを通して、「平和のとりでを築く」の読み取りをもとに、筆者の訴えに対する感想にとどまらず「平和な未来の社会の姿」について自分の考えを持つことができるようにする。それを後半の学習につなげていくために、それぞれがどんな未来をつかっていきたいかについて考える際には事例を挙げて自分の考えを話せるようにする。話し合いを通して、原爆ドームだけでなく、戦争、地雷、交通事故、環境汚染など様々な視点から未来に向かって考えられることに気付かせたい。
- ④「自分の考えを発信しよう」では、自分が決めたテーマについて調べたり、調べた結果を音声や映像、ポスターや新聞などに加工したりする手順を明確にして、主体的に取り組めるようにしたい。自分たちのよりよい未来を築くために今いちばん訴えたいことを考え、それを誰に、どんな方法で伝えるかということをも5つの言語意識を明確にして取り組めるようにしたい。
- ⑤自分の考えを書く活動では、書き出しに読み手の関心を喚起する事例を配置したり、時間的順序を意図的に変えて印象深い事柄から書き出すなどの構成のよさに気付かせ、構成を工夫する場面を設定し読み手の立場に立って効果を考え発信できるようにしたい。
- ⑥発表の練習の時間をとり、中間発表会を行う。「はじめに相手をひきつける工夫があるか」「訴えたいことがはっきりわかるか」「理由となる事例が具体的に挙げられているか」ということをポイントに聞き合い、相互評価をすることを通して、友達の表現のよさや改善点に気付き自分の発表に生かしていけるようにする。本番の発表はビデオに撮り、後から自分で見てふりかえられるようにしていきたい。

3 指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

よりよい未来の社会についての自分の考えをまとめて、説得力のある話をしたり、文章を書いたりしようとしている。

(2) 話すこと・聞くこと

よりよい未来の社会をつくるために自分の考えが分かるように、資料や例示の活用、結論や山場の位置づけなど話の組立てを工夫しながら話すことができる。(ア)

(3) 書くこと

よりよい未来の社会をつくるための自分の考えを明確に表すために、全体の組立てを考えて書くことができる。(ウ)

(4) 読むこと

平和とは何か、平和のとりでを築くとはどんな未来をつくることなのかを考える目的で文章を読み、事象と筆者の意見・訴えたいことをとらえ、自分の考えを明確に持つようにして読むことができる。(エ)

(5) 言語事項

自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、文や文章にはいろいろな効果的な構成があることについて理解することができる。(オ(ア))

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
○自分の考えを伝えるために効果的な文章や形態を選択し、発信しようとする。	○自分の考えがわかるように資料の活用、結論や山場の位置づけなど話の組立てを意識して話している。	○相手にわかりやすいよう、自分の考えを明確にし、全体の組立てを考えて書いている。	○事象と筆者の意見や訴えをとらえ、自分の立場からそれらをどうとらえるか考えをもちながら読んでいる。	○文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。

5 指導計画と具体の評価規準 (全14時間 話・聞：4 書：6 読：4)

	学習活動	具体の評価規準 (方法)				
		関心・意欲・態度	話す・聞く	書くこと	読むこと	言語事項
1	<p>第1次</p> <p>・リード文や写真を手がかりにこれからの社会がどのようなようになってほしいかについて考え、話し合う。</p>	<p>・自分の考えを意欲的に発表したり友達の間で感想を聞いたりして学習の見通しを持つようとしている。(観察・ノート)</p>			<p>・写真やリード文からこれからの社会の課題や大切なことについて訴えていることを読み取っている。(観察・発言)</p>	
2 3	<p>第2次</p> <p>・筆者の考えに対する自分の考えをはっきりさせながら「平和のとりでを築く」を読む。</p>	<p>・筆者の意見や感想をとらえ、自分の立場からそれらの意見についてどのような意識しながら読もうとしている。(観察)</p>			<p>・事実と筆者の感想や意見とを分け、図や表に表すことにより筆者の意見をとらえている。 ・文章構成や文末表現を手がかりにして筆者の意見をとらえている。(ノート・発言)</p>	<p>・文章の実際に即して構成の工夫を見出している。(発言)</p>
4	<p>・平和について話し合う (本時)</p>	<p>・前時までの読み取りをもとに、いろいろな視点から平和について考えようとしている。(発言)</p>			<p>・「平和のとりでを築くとはどういう未来をつくることか」という問いかけについての自分の考えを話し合いを通して交流し、自分の読みを深めている。(発言・ノート)</p>	
5	<p>第3次</p> <p>・何を、誰に、どんな方法で伝えるか考える。</p>	<p>・目的意識、相手意識、方法意識を持って自分の考えを伝える形態を選択し書こうとしている。(観察・ノート)</p>		<p>・発信の全体の展開を見通して目的や意図・相手意等を考えながら書く必要のある事柄を整理している。(ノート)</p>		<p>・自分の意図を伝えるために文や文章には効果的な構成がいろいろあることを理解している。(ノート)</p>
6 7	<p>・自分の考えを伝えるために集めた必要な情報を取捨選択したり整理したりする。</p>			<p>・相手がわかりやすいよう事例と自分の感想、意見を分け、全体の組立てを考えている。(ノート)</p>		
8 9				<p>・書き出しに読み手の関心を喚</p>		

10	・材料の示し方を考え、資料を作成しながら全体の組立てを考える。			起す事例を配置したり結論を先に置いたりするなど伝えたい相手を意識しながら意図が正しく伝わるよう工夫して書いている。(ノート)	
11 12	・発表の練習を行い、中間発表会をする。	・資料や話し方など友達のよいところを進んで見つけようとしている。(発言・ノート)	・資料や話し方など友達のよいところを見つけ教えたり改善すべきところを指摘したりしてよりよい構成を考えている。(発表・観察)		・文章にはいろいろな効果的な構成があることについて理解し、構成の工夫している。(発言・ノート)
13 14	・伝えたいことの発表会をする。		・事実と感想、意見の違いを区別しながら聞き、相手の立場に立って聞いたり質問したりしている。(発言・ノート)		

6 本時の指導

(1) ねらい

「平和のとりでを築く」の読み取りをもとに、平和のとりでを築くというのほどういう未来をつくることなのかを考えることを通して、自分の考えを深めることができる。

段階	時間	学習活動	教師の指導	予想される児童の反応
導 入	5	1 前時までの学習をふりかえる。	・写真とリード文からよりよい未来の社会についてそれぞれ考えを出し合ったことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをはっきりと伝えよう。 ○理由をつけて言えることをめあてにするぞ。 ○友達の意見をよく聞いて考えよう。
		2 本時の学習課題を確認する。	・本時の学習課題に基づいて「平和」をキーワードにして平和のとりでを築くとはどんな未来をつくることなのかについてそれぞれの考えを出し合い深め合うことを確認する。	
		「平和のとりでを築く」ということはどういう未来をつくることなのかを考えよう。		

展

開

3 「平和のとりでを築く」とはどういう未来をつくることなのかを班毎に話し合う。

(1) 「平和のとりでを築く」を音読する。

(2) 「平和のとりでを築く」で筆者が訴えたいことはなんだっただのか自分の読み取りとそれに対する自分が考えるよりよい未来の社会の姿について話し合う。

・ 3つの班に分かれて話し合いをする。

・ 筆者が読み手に伝えたいこと、考えてほしいことは何か考えながら音読をする。

・ 班毎に平和に対する自分の考えを理由をつけて話し合う。相手の話を聞き、質問や意見を出し合いながら、平和について考える様々な観点に気付かせる。

具体的評価規準

A: 「平和のとりでを築く」ということはどういう未来をつくることかの友達の話聞いて自分の考えに付け加えたり修正をしたりして自分の考えを深めている。(発言ノート)

B: 「平和のとりでを築く」ということはどういう未来をつくることかの自分の考えを具体例を挙げて話すことで自分の考えを深めている。(発言ノート)

Cへの手立て: 自分の考えをもてない児童には、P 58～59の写真や戦争、事件の新聞記事などに注目させる。これらの写真から平和やよりよい未来をつくるために実行すると思うことを、しはげないと思うことを考えさせ、発表の手助けをする。

○戦争のない未来をつくりたい。ナスカの地上絵が今も残っているのは、そこで戦争がなかったからだ。戦争があると、今までの文化遺産が失われてしまうと思う。戦争がない未来をつくるためには世界の人と協力することが大切だ。

○私は同じ地上絵の写しから洪水や自然災害のない社会がいたと考えた。台風でたくさん被害があつたように、流されてしまつた木を切りすぎたり温暖化が進まないように環境を考えた生活をする中の人をしたりすることが大事だと思う。

○私はこの前の台風の新聞記事から同じように考えた。台風でたくさんの人や建物が被害にあっている。自然災害だけど、木を切りすぎたせいで土砂崩れが起きたのではないか。自然破壊をすると、人間が安全に暮らすこともできないから、自然がある社会がいいと思う。

○私は地雷の本から～さんと同じ戦争のない社会がいいと考えたが、～さんは

	30	<p>(3) 友達の意見と自分の意見とを比較し、自分の考えに新しく加わったことをノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班の話し合いの中でみんなに紹介したいと思う意見について聞き、全体のものにする。 ・ 平和という言葉から様々な観点で考えられることに気付き、友達の考えのよさに気付かせる。 ・ よりよい未来をつくるために自分はどんな視点から詳しく調べ発信していくかも考えさせ、次時の活動につなげていく。 	<p>ナスカの地上絵からそのことを考えているほどと思った。文化遺産が残ると言うことは平和なんだろうということに気づいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ このまえのキャップハンディの体験から、誰でも安心して歩ける道のある未来を考えたいと思った。自分のしたこととつなげて考えていいと思った。 ○ 情報が取り出せて便利だと思っていたけど、～さんの新聞記事を見て、インターネットは人を嫌な気持ちにさせることもあることがよくわかった。 ○ 同じ意見でも理由がちがったり、同じ写真でも別の未来を思い浮かべたりしているのがわかってよかった。
終末	10	<p>4 本時のまとめをする</p> <p>(1) ノートに本時の自己評価を記入する。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由をつけて自分の考えを述べるのができたか確認する。 ・ 資料の効果を感じた感想があれば取り上げる。 ・ 本時の話し合いをふりかえり、友達の意見と重ねて自分の考えを述べるのができた児童を称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞記事を説明しながら意見を言えた。 ○ 写真を見て気付いたことをもとに、話すことができた。 ○ 「平和」は戦争がないと思っていたけど、～さんの意見から戦争がないだけでは平和にならないんだと感じた。 ○ ～さんの話は知らなかった。ニュースをよく見て考えていてすごいと思った。

三 伝えたい「何か」を見つけよう

今の社会を見ずえて、自分の考えを持ち、
未来に向かって発信しよう。

1	学習すること	めあて	わかったこと・感想・友達からの深まり
2	写真を手がかりに、これからの社会がどのようなか考へる。	写真から社会の課題や大切なことは何かということを読み取ろう。	
3	「平和のとりでを築く」を読む。	筆者がうったえたことは何かを読み取ろう。 <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin: 0 5px;">事実</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin: 0 5px;">感想</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin: 0 5px;">意見</div> </div>	
4	「平和のとりでを築く」とはどんな未来をつくることをか話し合う。	筆者のうったえたことについて、自分の考えを持ちとう。	
5	何を、だれに、どんな方法で伝えるか考へる。	何を訴えるかを決め、自分の考えが伝わるように書こう。	
6	必要な情報を整理して組み立てる。	事実、感想、意見を分け、組み立てを工夫して書く。	
7	←	←	